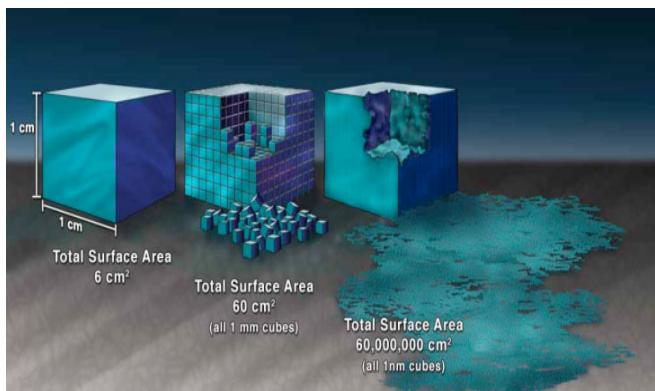


# NUALGI FOLIAR SPRAY

## ナノ技術は農業を救うことができるか?



天然水の栄養素汚染は、今、気候変動を背景に、(自然)科学者や環境問題専門家にとって最も深刻な関心事です。第二次大戦以降、NPK 肥料の使用が激増します。今日、農業生産は停滞し、食物の栄養分は減少し (Donald Davis 2004), 水は塩化し、酸欠海域が海洋生物に影響を及ぼし、土壌は使い尽くされて農業の利益は減少しています。一方、世界人口は増大し、都市化が進み、従来よりも多くのタフク質に富む食品を要求しています。ナノ技術は、永年研究されてきた解決策のひとつです。

それは、NPK 投入量の劇的な減少、病虫害に対する耐性の増大、流出又は浸出問題を無くすこと、25% UP まで高い収穫高、及び、栄養素と微量栄養素含量の著しい改善を約束します。Nualgi Foliar Spray は、市場で利用できる最初の、ナノスケールの葉面散布のひとつです。それは粒度 1-30nm のナノスケール液剤です。ナノシリカベースに吸着した、主要養分 (P と K), 二次養分 (Ca, Mg, S), 及び、微量栄養素 (Fe, Mn, Zn, Cu, B, Mo と Co) から成る、バランスのとれた混合液です。

Nualgi は、効率的な光合成に必須の全ての栄養素を、葉に直接届けます。微粒子径のため、栄養素は気孔を通じて吸収されます。高効率の光合成は、根へ効果的な液体炭素の経路をつくります。根から滲出する液体炭素は、“バッテーマイニング”をもたらす周囲の微生物を支えます。滲出物を常食とする土壌微生物は、健康に育ち、栄養素化合物の化学結合を切断して、栄養素イオンを植物に放出します。土壌微生物は、古細菌や菌根菌と共に、大気窒素を、やはり植物に届けられる有機性窒素に転換します。炭素の循環は、故に、窒素と養分循環を完了するのに役立つのです。土壌の構造と健全性は、時間と共に改善されます。糖類の※ATP への全面移行により、植物が害虫に左右されなくなります。米国カリフォルニアでの実地試行では、NPK 肥料を 30% 減らして、イエードーにイエードー当たり 200ml を 2 週毎スプレーをかけた結果、収穫高が 22%, 純利益が 25% 増大し、色彩が 12%, 重量が 20% 改善しました。同様の結果が、ホウレンソウ、処理トマト、サツマイモや他の様々な野菜や果物でみられました。



前後写真—Nualgi を 3 週スプレーした後の低温ストレインいちご

フォールブルック、カリフォルニア 2016 年 2 月

※ATP : アデノシン三リ核酸。“生化学エネルギーの通貨”

イエードー = 4,046.86m<sup>2</sup>

Nualgi は、通常は、希釈して精密噴霧器を使って 2 週間毎、葉に、イエードー当たり 200ml の割合で朝にスプレーをかけます。6割の気孔が葉の裏側にあるので、できるだけ葉の両面にスプレーすることを薦めます。Nualgi は、OECD 標準に沿った経口及び経皮 (皮膚) 毒性試験で、毒性が無いと証明されています。